

# (12)菅野

(宇陀郡御杖村菅野～牛峠)

江戸中期に菅野村の六十六部行者、行悦は本街道沿いに9基の廻国供養塔を残している。それらには、大和の初瀬と伊勢宮川までの距離が示され、旅人にとって大変便利なものであったと考えられ、今では愛着を込めて「行悦道標」と呼ばれている。

## 地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- まぢがえやすい分かれ道
- 地蔵など
- その他文化資産等
- 案内板
- トイレ



**99 御杖小学校**  
ドームで覆われた円形校舎で中央のアリーナを囲むように教室が配置されている



**100 駒繫橋道標・太神宮燈籠**  
「左いせみち 右はせみち」とあり灯籠には天保3年(1832)と刻む。倭姫命の伝承が残る



**101 安能寺**  
県指定文化財の茅葺きの鐘楼門の傍には樹高10mのエドヒガン桜がある



**102 道標⑥**  
「宮川へ十五(以下土中) 右いせ 左はせ」行悦のものかは不明



**103 みつえ体験交流館**  
元小学校の木造校舎を活用した施設。101mの廊下では毎年雑巾掛け競争が開かれている



**106 牛峠手前の道標**  
県道改修時に建てられた。旧道は右側の土手道を進み渡河していた



**107 磨崖六字名号碑**  
大岩には名号のほか貞享3年(1686)の紀年と蓮台が彫られている



**104 四社神社**  
秋祭りには獅子舞が奉納されている。川に向かって社殿が建つ



**105 造工の槌**  
各戸の玄関には造工の槌打ち神事に使われた木槌が飾られている

この部分は次ページをご覧ください

